

大学自己評価部会だより

第39号 (平成26年7月)

■教育研究目標

九州歯科大学は、質の高い教養教育と専門教育を学生に提供し、患者さん中心の医療を実践できる人材を育成します。この基本的な理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行っています。

- (1) 新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的医療人を育成する。
- (2) 歯科保健医療を通じて社会に貢献する医療人を育成する。
- (3) 高度な専門性を有する歯科医療人を育成し、高度先進医療の拠点病院としての機能を強化する。
- (4) 歯科医学を支える研究を推進するとともに、地域社会と連携した研究を展開する。
- (5) 国際社会に貢献できる人材の育成と交換留学生の受け入れを促進し、アジア太平洋地域の歯科教育研究機関との連携を強化する。

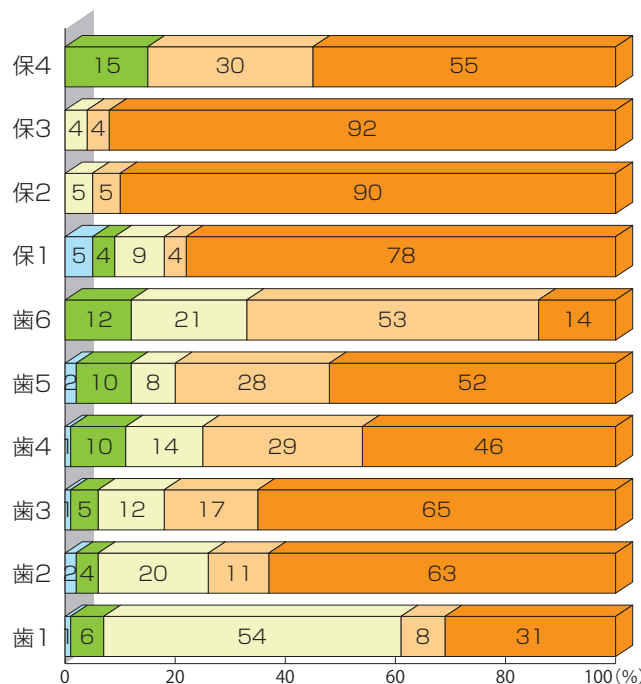
アンケートの調査結果を報告します

歯学科、口腔保健学科を対象としたアンケートから、アルバイト、奨学制度、学生のニーズの把握について報告します。

① H25年度のアルバイトの現状

学科や学年によって状況が大きく異なりますが、歯学科(歯1～6年)の方が口腔保健学科(保1～4年)より、アルバイトをしている学生の割合が少ない傾向にあります。

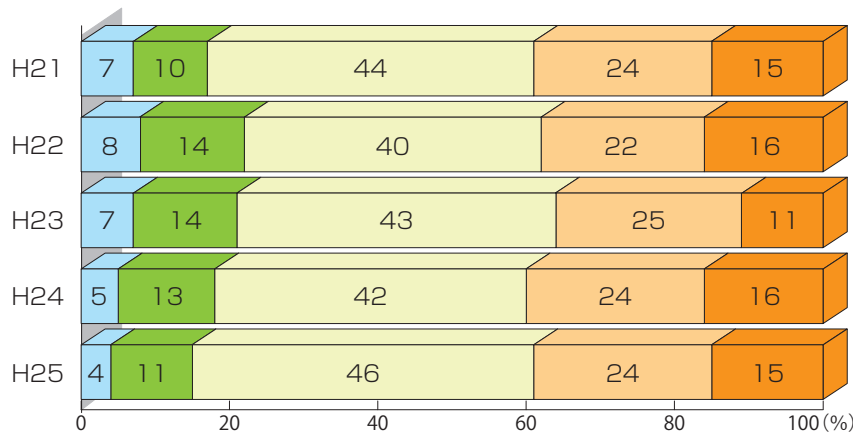
本学に入学してアルバイト
をしているか。
あるいはこれからしたいと
考えているか。



② 奨学制度について

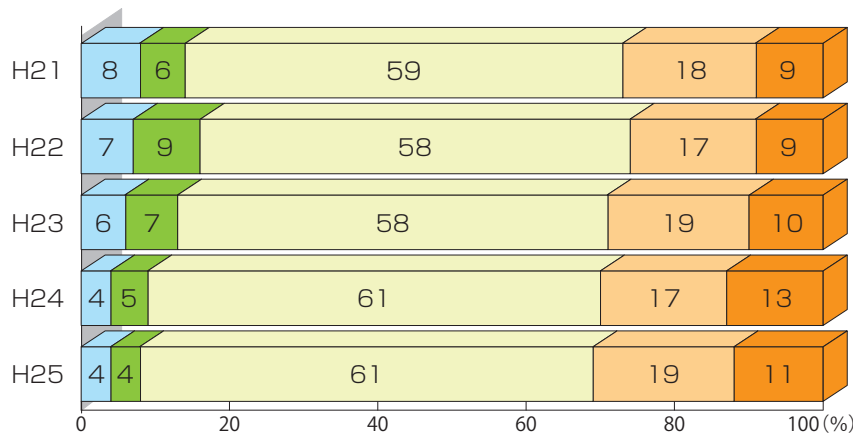
奨学制度について「全く知らない」学生が徐々に減り、どちらかという「充実していると思わない」学生の割合も減少傾向にあります。

奨学制度を知っているか



- よく知っている
- 一部知っている
- 聞いたことがある
- 全く知らない
- 知る必要がない

奨学制度は充実していると思うか

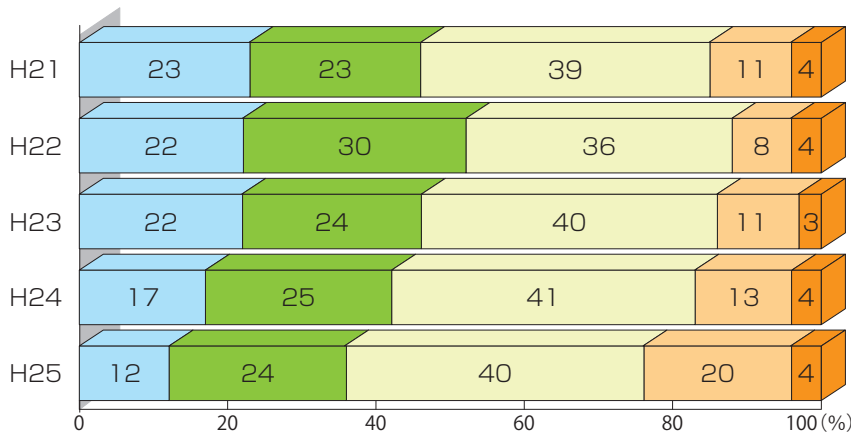


- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

③ 学習面でのニーズの把握

大学では、学生の要望に応え、H25年度から定期試験前と試験期間中は自習スペースを拡充しています。そのこともあって、大学が学生のニーズを把握していると思う学生が増えました。

大学は学習面のニーズを把握しているか



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

